公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども支援センターすだち（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 29日		2025年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51	(回答者数) 37
○従業者評価実施期間	2025年 1月 29日		2025年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025.年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さんの人数に対する職員数の割合が園よりも多く、お子さん1人1人に対して個別のかかわりができやすく、排泄面や食事面などについても個々に合わせたより丁寧な対応ができる。	お子さんの状態や様子について、日々のミーティングの中や連絡ノートを用いて職員間で情報共有を行い、共通理解に基づいて対応をするように心がけている。	お子さんへのかかわりについて、職員間でより共通した対応を取ることができるよう、きめ細やかな情報共有をしている。特に臨時職員に対しては日々のミーティングに参加することができないため、重要なことは個々に話をして伝えるなどの対応を取っていく。
2	保護者やお子さんへの接し方や対応などについて、保護者対象のアンケート結果からおおむね好意的な評価をいただいている。また、何人かの保護者から、お子さんがすだちに通うことをとても楽しみにしているとの話をいただいております、保護者やお子さんにとって通いやすい施設となっていると思われる。	保護者へのフィードバックは、支援計画に対してのお子さんの姿や成長した点、良かった点を中心に保護者にお伝えするようにしている。	保護者からの相談や苦情があった際には、事業所内で対応策を考えた上で、なるべく迅速に保護者と話をする機会を作り、その都度問題解決をはかれるよう努めていく。
3	こども発達センターや法人内の放課後等デイサービスと連携を取ることができ、事業所間の移行をするお子さんについて緊密な情報共有をすることができる。また、心理士や作業療法士などの専門職とも連携することができ、よりきめ細かい療育や保護者支援を提供できる。	すだちからセンター医療を受診したいお子さんなどについて、センターと連携を取り受診がスムーズにつながるよう対応をしている。また、保護者にすだちで心理相談や発達検査を行えることを周知し、希望があった際にはすぐに心理士につないでいる。	情報共有について、特にアレルギーや発作などがあり特別な対応が必要となるお子さんについては、事業所間でより丁寧な申し送りができるよう留意していく。また、療育内容について、今後も専門職の意見も取り入れながら活動内容を考えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	屋外で遊んだり活動したりするスペースがほとんどなく、戸外遊びができにくい。お子さんを外で遊ばせてほしいといった保護者からの要望に、十分に答えることができていない。	園庭などの屋外遊びのためのスペースが作られていない。また、公園などの遊び場が、歩いて行ける範囲に少ない。散歩については、気候の良い日でも、お子さんの人数が多いと安全面の上で難しくなる。	活動室横テラスのスペースを活用し、安全面に配慮した上でシャボン玉遊びなどの戸外遊びをなるべく行っていく。散歩についても、職員の数が確保できる時には積極的に散歩に出かける。
2	療育の活動内容について、似たようなものが多くなりがちであり、お子さんが楽しめるようなバラエティーに富んだ活動が提供できていない。	保育園等での現場経験のある職員が少なく、職員がお子さんの活動についての知識が乏しい。また、新たな活動のためのアイデアを共有したり道具を作る時間が確保されていない。	活動内容について、施設内の職員だけでなく、施設外の職員や専門職にも意見を求めていく。また、施設内の職員間でも新たな活動のためのアイデアを共有したり道具を作る時間をとっていく。
3	特に臨時職員に対して、お子さんについての情報共有を行ったり、療育に関する意見を聞いたりする場を持つ機会が乏しい。連絡ノートや、お子さんの情報についての回覧だけでは不十分な点も多い。	臨時職員の出勤、退勤時間がお子さんが登所している時間帯になり、また曜日ごとに出勤する職員が異なるため、全員とミーティングをしたり意見を聞いたりする時間が取りにくい。	お子さんに関する重要な情報については、臨時職員に対しても紙面だけでなく直接情報共有をする場を設け、また臨時職員の療育に関する意見を聞く機会を可能な範囲で設けていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

2024年度

事業所名 こども支援センターすだち（児童発達支援）

公表日 2025年6月16日

利用児童数

51人

回収数

36枚

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	5	4	3	0	・実際に活動の様子を見る機会がないのでわからない。 ・少し狭い気がするが、少人数なので良いのかなと思う。 ・もう少し広いと活動しやすいと思う。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	33	1	0	2	0	・十分な人数でしっかり見てもらえていると思う。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	33	2	0	1	0	・バリアフリーになっているし、玄関から入って分かりやすい。 ・一日の流れが分かりやすく掲示されており、混乱するような無駄なものもなくすっきりとした環境で良いと思う。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31	1	2	2	0	・手洗い場など、子どもの身長にあわせて作られている。 ・いつもきれいにされている。	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	35	1	0	0	0	・自分では気づかなかった子どもの特性（性格）を見抜いて意見を前向きにくれた先生がいた。 ・子どもの得手不得手に寄り添って支援してもらっている。	これからもこどもの様子をよく見て対応できるように努めてまいります。機能訓練担当職員の助言を受けながら専門性を高めるための研修を実施していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	34	1	0	1	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	35	0	0	0	1		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	34	0	0	2	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35	0	0	1	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	31	2	0	3	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	24	5	4	3	0	・普段通っている園とは異なるお友達とすだちで交流できている。	事業所としてはありませんが、今後も園以外の友達との広がりも支援していきたいです。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	35	0	0	0	1	・入所の際にしっかりと説明してもらえた。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35	0	0	0	1	・入所の際にしっかりと説明してもらえた。	今後も個別モニタリング面談でご説明をしていきたいと思っています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	6	4	6	2		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	34	1	0	0	1	すだちでの様子は丁寧に共有してもらっている。こちらからは面談で子どもの様子を伝えている。	今後もわかりやすく丁寧に伝えたいです。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	34	1	0	0	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	35	0	0	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	6	5	14	1	・なくても支障はないと思う。	申し訳ありませんが、現在の父母の会はありません。こども発達支援センター・友愛の家などでのイベント情報は随時お知らせいたします。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	1	0	2	1	・利用したことはないが、相談する場所があることは説明してもらっている。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	34	1	0	0	1	・いつも細かくフィードバックをもらっている。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	29	3	0	4	1		定期的にホームページの配信情報などをお伝えしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	34	0	0	1	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	3	0	7	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	2	0	11	1		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29	2	0	4	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	33	1	0	1	1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	35	0	0	0	1	・帰宅時に毎回とても楽しかったとにこにこで教えてくれる。 ・先生方をとても信頼している様子。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	31	3	0	1	1	・楽しかった！とよく言っている。 ・通所日はいつも笑顔。	これからも楽しく取り組める支援プログラムを考えていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	34	1	0	0	1	・とても満足している。 ・都合がつけばもっと通わせてあげたい。	必要な時に必要な支援が皆さまに届くようがんばって参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					
こども支援センターすだち（児童発達支援）		2025年 6月 16日					
	チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	2	1		・（プラレールなど広がるおもちゃが多いので）自由遊びでは狭く感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	3	0	・仕切りをして部屋を分け、必要に応じて使用している。	・フィードバックのピークの時間は職員の目が届きにくいので危険を感じる。 ・子どもの状況が不安定である時応援を依頼するなどしても良いのではと思う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	2	0	・すごく過ごしやすいと思う。	・コンセントが低い位置にあり、すぐに触れるので危険だと感じる。 ・換気用の窓は網戸がないので虫や葉が入り、子どもたちが騒ぎ出す要因になっている。蜂が入ったこともあり、また雨が降る日は降り込むため閉めると換気が不十分である。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	2	0		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	1	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	3		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	0	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	0		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	1		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	1		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	1	・回覧や記録ノートが参考になる。 ・紙で共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	1		

の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	2	・当日の活動の原案を主担当が決め、他職員に共有し話し合いをしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	1	・先週の活動内容を随時確認し同じような活動にならないように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	1	・毎日適切に行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	1	・職員がこまめに記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	1		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	6	0	4	・サービス担当者会議は今年度の実施はなかった。保育園訪問は各担当もしくは児童発達支援管理責任者が行っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	2	・こども発達支援センターと共に行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	2	・園訪問や電話での情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	4	・保護者を通じておこなっている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	3	・並行通園で各々地域園に行っている。	・施設としての関わりは無いが、福祉の村全体での夏祭り、クリスマス会などのイベント時の交流はある。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	2	・毎回、帰りに保護者とフィードバックの時間を設けている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	2	・講演会等の案内や掲示を行う。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	3			

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	2		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	3		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	1		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	4		・週1～2回の利用のため父母の会がない。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	1		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	1		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	1		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	2		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	3		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	1	・マニュアルに加え動画研修がある。	・防犯マニュアル等、様々な事態を想定しマニュアルを策定して訓練を行う必要があると感じた。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	2		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	1	1		・現在、予防接種の確認をしていないが、今後、家庭調査票の項目に追加していくか検討をする。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	5		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	3		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	4		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	1	・紙で共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	1	・インターネットで研修している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	3			